

佐野薬品(株)における VMIサービスの概要

平成17年8月3日
佐野薬品株式会社

目次

1. 業界の現状
2. 現状分析と検討の経緯
3. 病院への提案にあたり
4. システム全体概要
5. 体制
6. スケジュール
7. 導入の効果
8. 今後の展開

1. 業界の現状

医療行政が厳しさを増している昨今、弊社を始めとした臨床診断薬卸業界にとっても変革の時期が訪れております。

特にメーカーとユーザー（医療機関）とのパイプ役である私共卸にとりましては、経営効率化と差別化を行わなければ、合併や吸収の波にさらされる事となってしまいます。

現在、私共取引業者は各施設単位での物流業務を行っています。その為、各施設では複数の業者への発注から検品、伝票処理等莫大な手間がかかり職員の方々が日々苦勞していますし、病院経営も厳しく、私共にとって、ますます風当たりが強くなっていることは確かです。

2.現状分析と検討の経緯

日本の医療業界は血液製剤の事故やBSE等の事故により、ようやく安全管理体制の必要性を考え始めています。
また、各医療機関では多品目の発注から検品、伝票処理等で多くの時間を費やしています。

しかも病院経営にとって大きく影響する在庫の問題も抱えています。

そこで弊社では各商品の発注から配送、在庫管理、請求業務までの業務をITを駆使し簡素化、一元化することで煩雑な業務のスリム化とコストダウンを考えました。
また、病院在庫をほとんど抱えないですむシステムと安全管理体制を考慮しロットNOの追跡調査のシステムを実現しております。

3.病院への提案にあたり

1. 提案のポイント

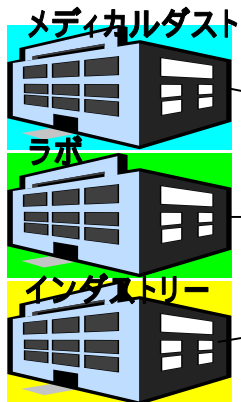
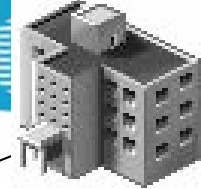
**病院様での操作は簡単です。(バーコード読取のみ)
病院様の管理(在庫、発注、実績)が不要です。
厳密なロット・期限の管理が可能です。
管理資料を提供します。**

2. 共同SPDセンター提案との比較

**トータルSPDでは医薬品、医療資材、一般材料が含まれるが、
厳密なロット・使用期限の管理が必要な検査用試薬には不
向きである**

**新たな物流センターや倉庫機能を構築する必要がある
ASPサービスによりすべてがオンラインリアルタイム処理である
病院様の発注処理が不要**

4. システム全体概要



既存WEB or FAX

メーカー発注

入荷(ロット・期限入力)

EAN128ラベル出力



基幹系

出荷予定表

秋田厚生連本部

中間DB

他卸入荷

発注

入荷

他卸発注

秋田厚生連病院

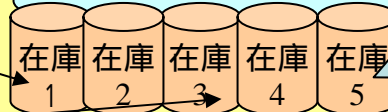
VMI
サーバー

ユーザー在庫の管理は佐野薬品にて行う、
他卸分の入出庫データも
ユーザー側から送信させる

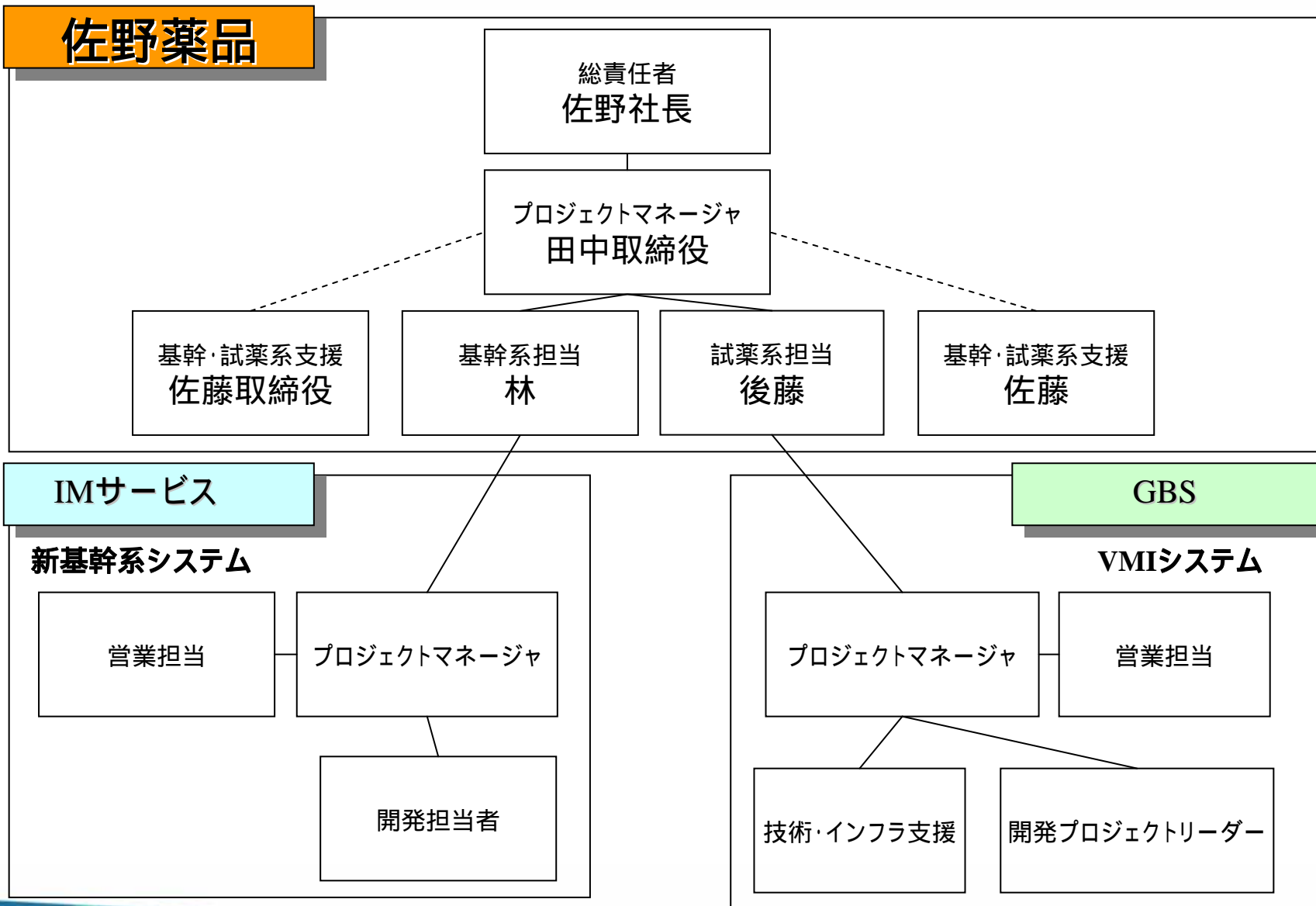
その他病院

ASP

WEB



5. 体制



6. 開発スケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
要件定義	→								
基本設計			→						
開発				→					
テスト						→		納品	
運用テスト、教育							→		本稼動

7.導入の効果

(1)佐野薬品

- ・ABC分析に基づき商品の補充を行っている為、至急品の配達がほとんどなくなった。
- ・納入している全商品に関して在庫数からロット、期限まで把握できるのでトラブルがあっても即対処できる。
- ・資材課(購入窓口)に対し、消化品及び購入品全て院内システムに取り込めるフォーマットでFDに落とし納品明細書とペアで提供している為手間が省け喜ばれている。

(2)メーカー(仕入先)

- ・佐野薬品で代行して全製品にEAN128コードを貼付している。
- ・メーカーの立場としては自社で投資をすることなくEAN128コードが流通する事になり、JANで出荷しているメーカーの中で1部(2社)以外は仕入れ率の低下を含むメリットを佐野薬品に約束して頂けた。

(3) 平鹿総合病院様

- ・現場の技師様が在庫管理をあまり気にせず仕事に集中できるようになり、検査受付(事務)での発注業務も全体の約10%に激減している。
- ・ロット及び期限情報も両者間で共有できるので安心して頂いている。
- ・消化払いについては、使用した商品のみ請求の対象になる為、病院側での在庫をほとんど持たなくても良く厚生連本部(御支払い側)にも喜ばれている。

8. 今後の展開

今後の展開に関しましては、同じ厚生連病院の山本組合総合病院様で4月より開始しております。その後も厚生連病院に限らず他の病院様への導入も順次決まってきました。
また、営業戦略的にもトレーサビリティ・システムと実消化払いを強調しシェアアップをもくろんでいます。

ご静聴 誠に有り難うございました。

VMISシステムとトレーサビリティ

～在庫委託方式とトレーサビリティ～
VMI(Vendor Managed Inventory)

平成17年8月3日
ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社
メディカル・システム事業部

弊社は1993年に日本アイ・ビー・エムの新規市場開拓の戦略会社として発足いたしました。最もウェイトが高い事業はソリューションプロバイダー事業ですが、最近では調剤薬局をはじめ医療業界向けのトレーサビリティ（履歴追跡）と在庫管理システムに注力しております。

現在日本の医療業界は血液製剤の事故やBSE等問題により、薬品や医療資材に対する安全管理体制を、漸く考慮し始めております。しかしながら安全管理を実施しようと考えた際に、日本のJANコードでは限界があり、製品のロットや使用期限を各物流工程で厳密に管理できておりません。ロットと有効期限を同時に表現できるEAN128コードをシステムで標準採用し、安全管理が可能なシステムに取り組んでおります。

この度私共は佐野薬品株式会社（秋田県：佐野公彦社長）様で試薬卸としては全国で初めてEAN128コードを全ての試薬に添付し、病院様に納入できるシステムを開発致しました。

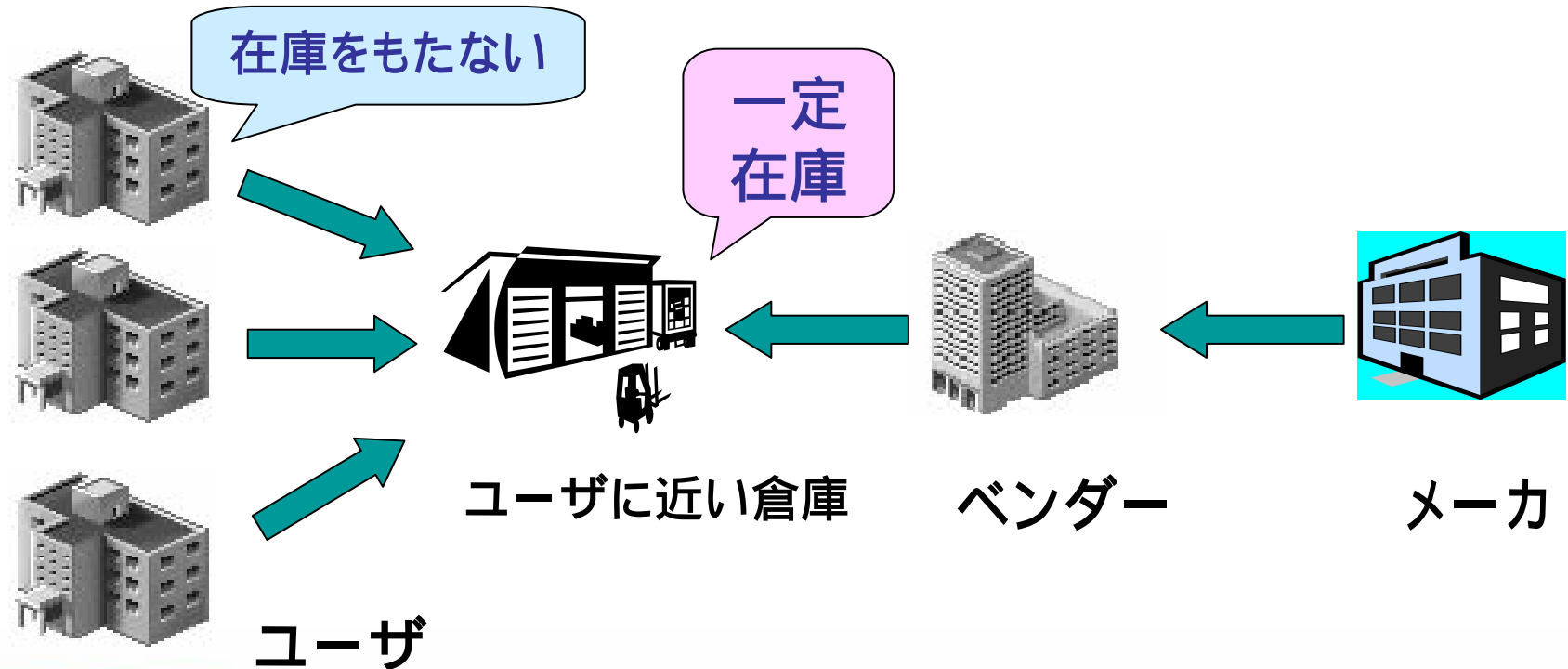
また、病院様のできるだけ在庫を持ちたくないというニーズに応えて、病院様の在庫を管理し、使用した分だけ補充するというVMI (Vendor Managed Inventory) 方式のシステムを構築し、新しいサービスを病院様に提供いたしました。本システムは病院様の利便性を向上させるだけでなく、物流の最適化を図り、コスト削減を実現しております。

本日は佐野薬品様で現在稼働しているシステムのご説明をさせて頂き、御社の新しいビジネスとしてご検討いただたく存じます。

1. VMIシステムとは

VMI (Vendor Managed Inventory) : ベンダー在庫管理方式

VMIとは、サプライチェーン上に存在する供給する側と供給される側の間において、供給側が供給される側の需要予測情報や在庫状況をリアルタイムに把握できる状況下で、供給側が適正な供給量を算出して提供する狭義のロジスティックスであり、また双方の在庫を最も適正な量に抑制する管理手法である。



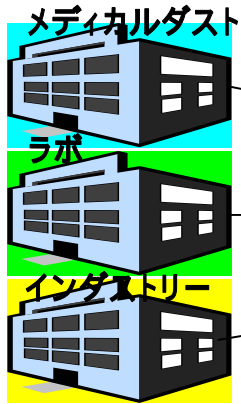
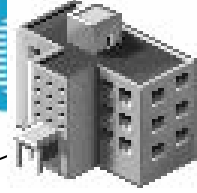
2. VMI成功の要因

ユーザとベンダーとの信頼関係

情報を共有化するインフラの構築

オペレーションの簡素化

3. 佐野薬品様におけるVMIシステム事例



既存WEB or FAX

メーカー発注

入荷(ロット・期限入力)

EAN128ラベル出力



基幹系

出荷予定表

秋田厚生連本部

中間DB

他卸入荷

補充

入荷

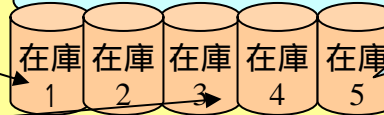
他卸発注

秋田厚生連病院

ASP
サービス

MFラボ
サーバー

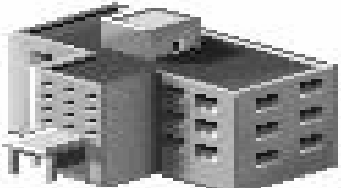
病院様在庫の管理は佐野薬品様にて行う、他卸様分も管理するで在庫管理委託を実現



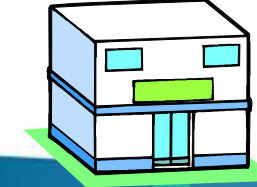
ABC分析

WEB

検査室の在庫管理委託方式



メディフロンティア・ラボ
その他病院



4. 導入のねらいと効果

- 病院様の効果 -

お客様に安全と安心を提供

全ての臨床検査薬にEAN128を添付し、ロット・有効期限管理を徹底することで病院様に安心してお使いいただく環境を提供いたします。

病院様の在庫管理、発注業務の手間を開放

日常はハンディ端末で使用時に臨床検査薬についているEAN128バーコードを読み込むだけの簡単操作を実現しています。病院様の在庫、発注業務は卸様で代行いたしますので、病院様の手間を大幅に削減できます。

消化払いと適正在庫での運用により病院様のキャッシュフローを改善します。

消化情報を印刷またはEXCELでダウンロードし、自由に加工できます。

4. 導入のねらいと効果

- 卸様の効果 -

お客様の囲い込み

臨床検査薬VMIサービスを病院様/検査センター様に提案することでお客様を囲い込むことができます

配送コストの削減

卸様が病院様の在庫管理を代行することで、計画配送が可能となります。また急配が殆どなくなります。

在庫量の適正運用

システムにてABC分析を行い、最適な補充点・補充数を算出し、過剰在庫をなくします。

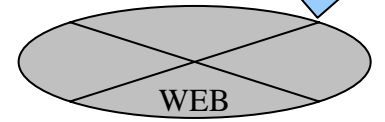
5. 病院様での運用

冷蔵庫(室)



入荷処理は不要

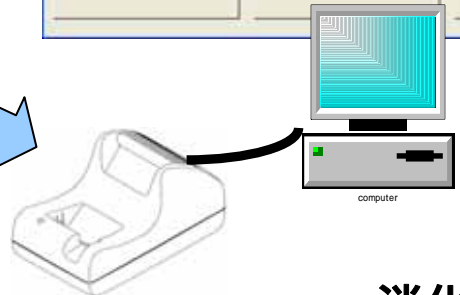
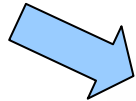
リアルタイムで卸へ
消化データ送信



検査技師



業務終了時に受付員
にリーダーを渡す



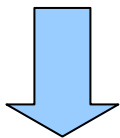
通信ユニットにハンディー
を差し込みデータのアップ
ロードを行う

消化実績の
履歴管理が可能

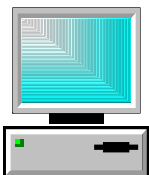
検査薬を冷蔵庫(室)から
取り出す度にEAN128を
ハンディーで読み取るだけ

6. 卸様での運用

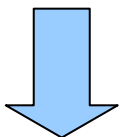
検査薬



メーカーから納品



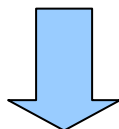
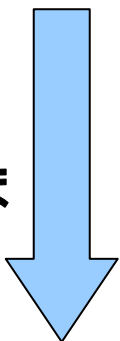
基幹システム
で入荷処理



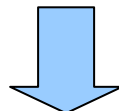
EANがツーマークされているもの

EANがツーマークされていないもの

そのまま
棚入れ



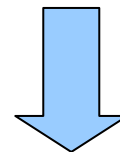
EAN128ラベル
発行



貼付後
棚入れ



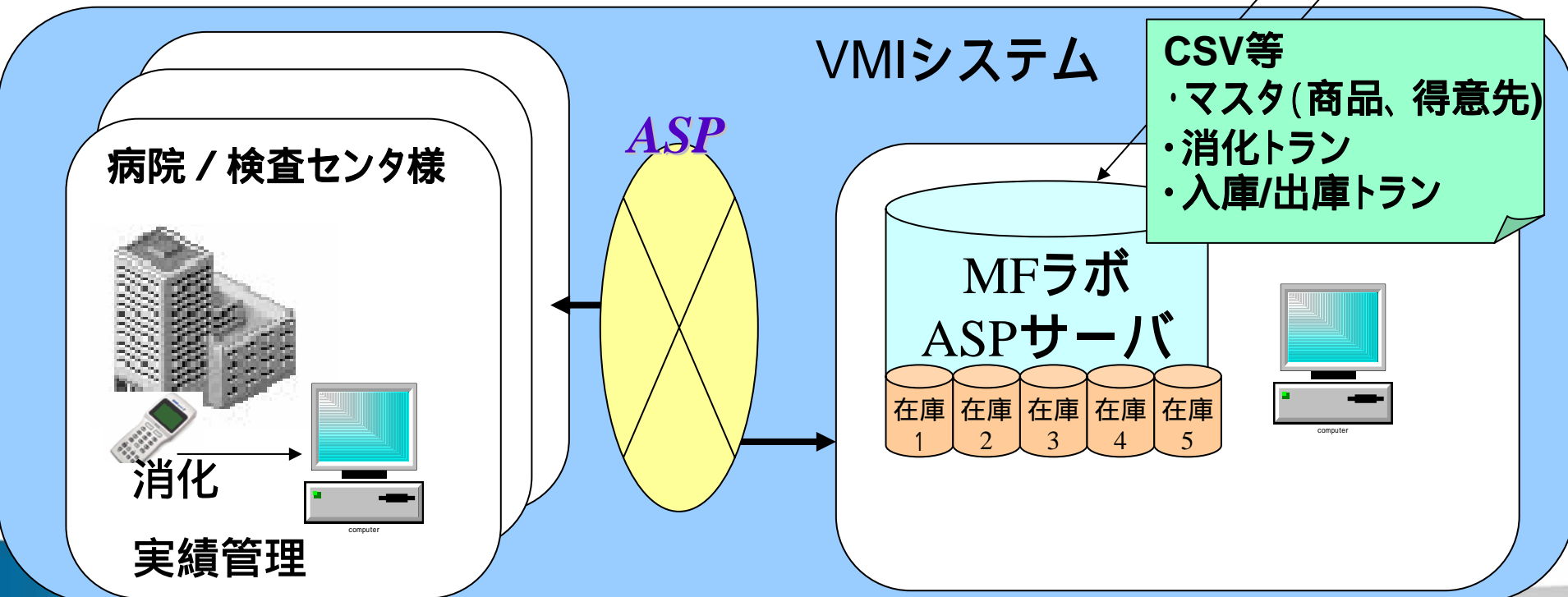
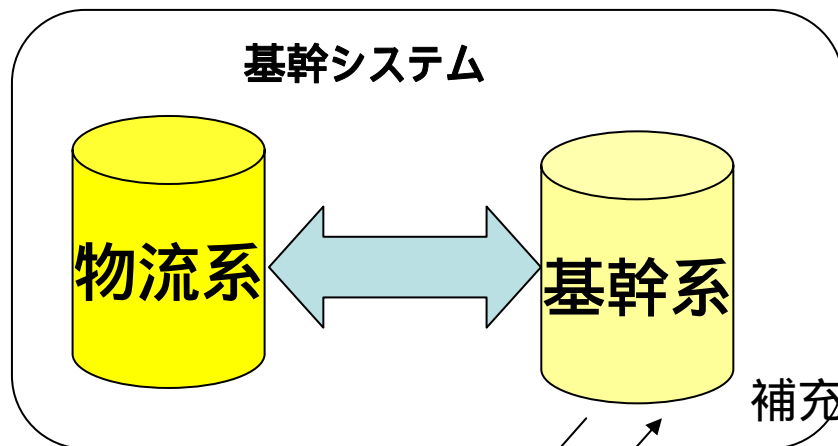
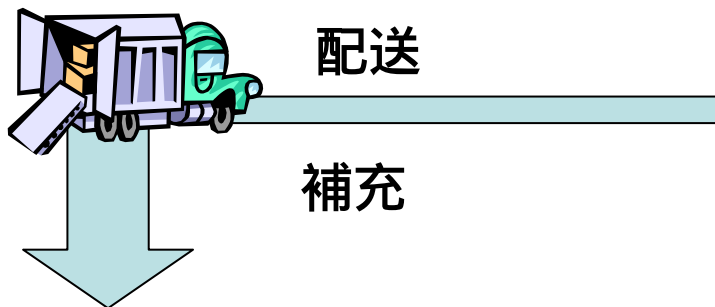
病院在庫を任意
のタイミングでABC
分析処理



不足分を補充

7. 卸様でのVMIシステムイメージ

VMI (Vendor Managed Inventory)



システムの説明とデモ

平成17年8月3日
アイ・エム・サービス株式会社
ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社

デモの概要

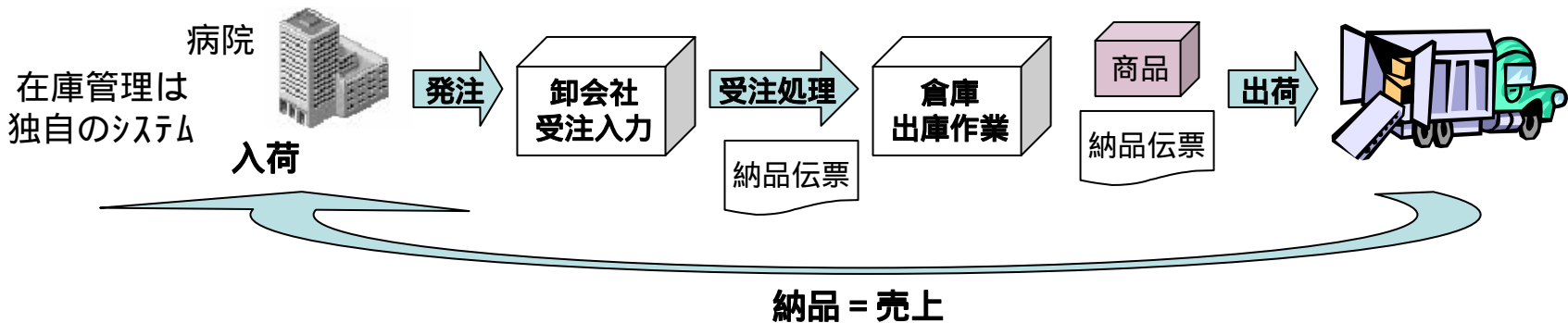
病院様での処理

- 1.担当者システムログイン
- 2.商品開封時の処理
- 3.消化データアップロード
- 4.発注処理

卸様での処理

- 5.病院補充データ作成
- 6.消化・発注・補充データ取り込み
- 7.出庫処理

システム導入前の受注から出荷までの流れ



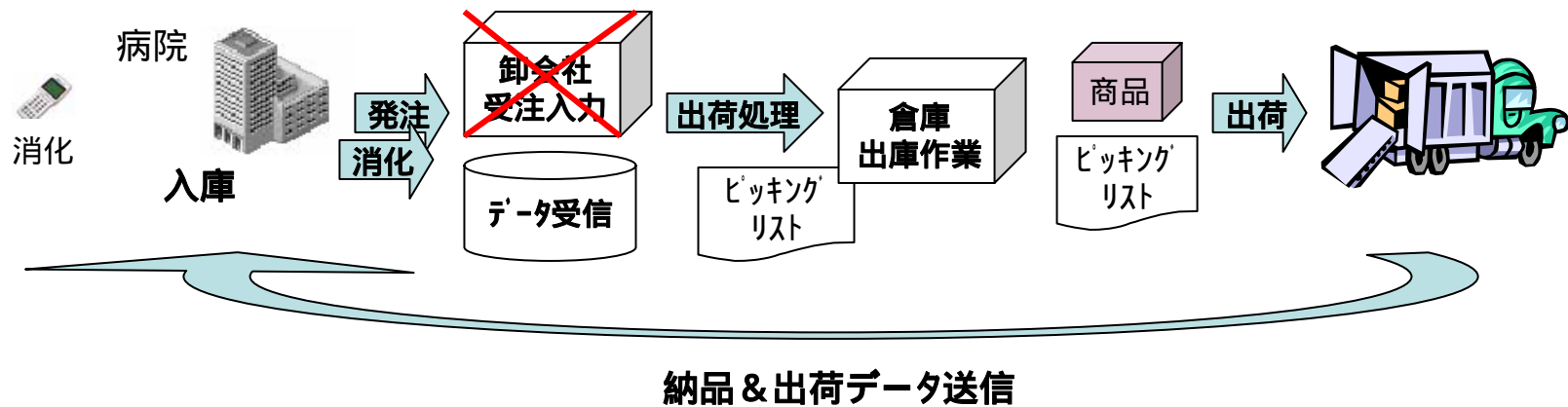
[病院様]

病院内の在庫数の管理や、発注処理、納品時の検品作業等の処理に時間がかかる。
商品をいつ、どれだけ使用しているか管理が難しい。
在庫切れを警戒し、過剰在庫になってしまう。

[卸会社様]

病院にある在庫数の把握が難しいため、自社の病院向けストック在庫管理が難しい。
至急品が多々発生する。
自社の出荷管理がロット管理されていないため、ロット回収が難しい。

システム導入後の受注から出荷までの流れ



[病院様]

病院内の在庫管理を卸会社で管理してもらえるので手間が大幅に削減した。
 使用する商品のバーコードを読み取るだけで在庫管理が可能になった。
 実消化払いにより在庫を減らすことができた。

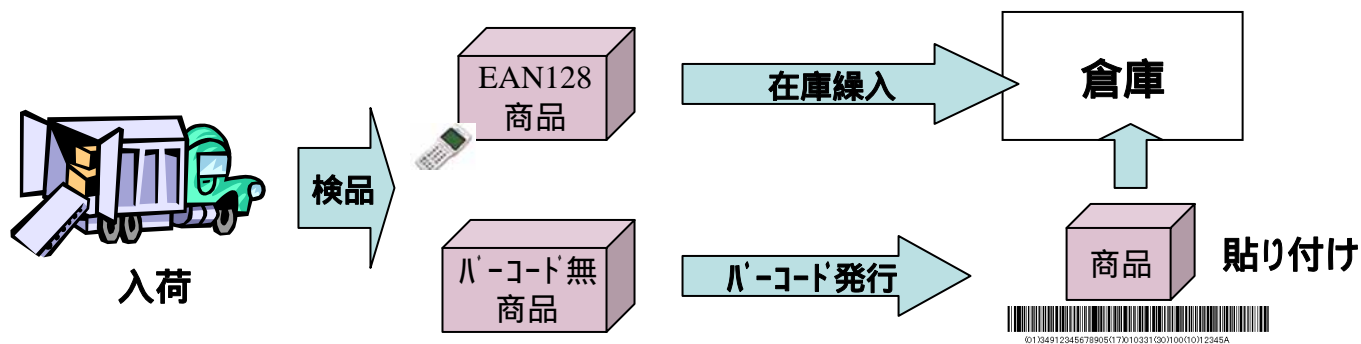
[卸会社様]

病院にある在庫数の把握ができるため、計画的な発注や在庫管理が可能になった。
 至急品がほとんどなくなった。
 在庫管理をロット単位にしたことにより、トレーサビリティが容易になった。
 また、病院在庫も使用期限切れの把握ができるようになった。

卸会社様の商品管理について

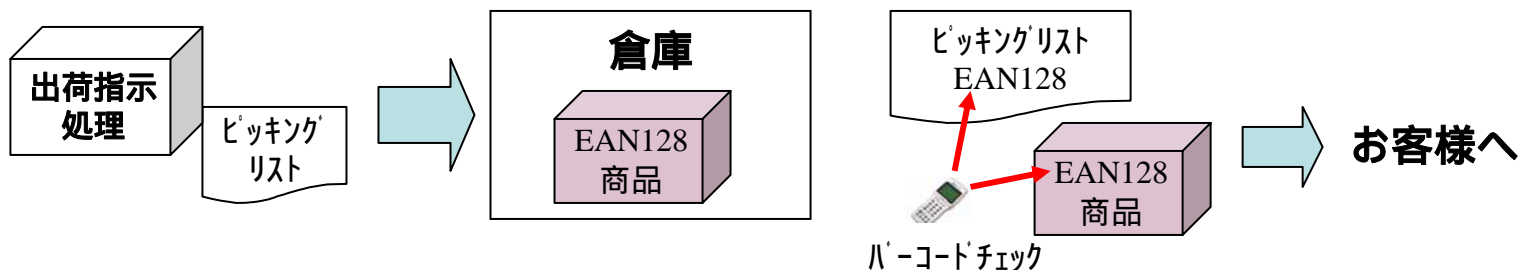
在庫管理をEAN128単位に

メーカーがEAN128を使用している場合はそのまま使用します。
EAN128バーコードが無い商品は自社でバーコードを作成します。

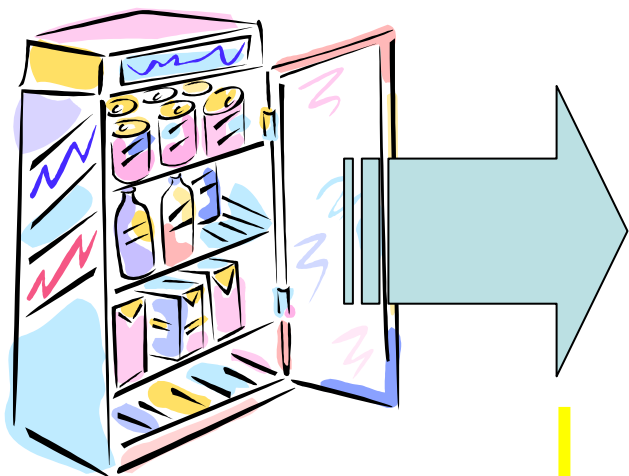


納品ミスを防ぐ

システムでは出荷商品をロット・使用期限単位で指定します。(ピッキングリスト)
出荷担当者はその指示を基に倉庫から商品を出庫します。
出庫した商品とピッキングリストのバーコード一致チェックにより納品ミスを防ぎます。



HTTによる消化データの登録



商品名称: ABCD錠
 商品番号: 4987000000000 使用期限: 05/10/31
 LOT :



パスワードの読み込み

ログイン入力
得意〔 〕
担当〔 〕
PW〔 〕

ハンディ画面イメージ

GBS総合病院
検査部門



部門カードイメージ



メニューの選択(消化データの読み込み)

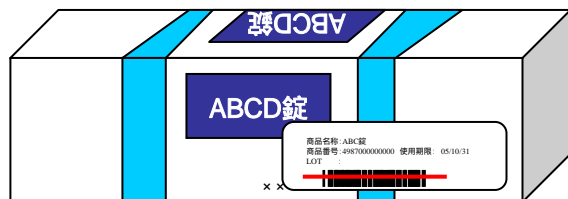


GBS総合病院 検査部門

- | | |
|--------------|---------|
| <u>1. 消化</u> | 4. 残期限 |
| 2. 送信 | |
| 3. 受信 | 9. ログオフ |

ハンディ画面イメージ

EANバーコードの読取り



GBS総合病院 検査部門
ABCD錠 10mg/錠
数量 { 1 }
{4987000000000}

ハンディ画面イメージ

メニューの選択(消化データの送信)

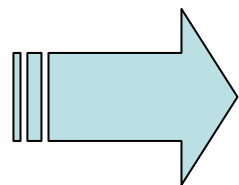
JPN総合病院 検査部門

1. 消化 4. 残期限

2. 送信

3. 受信 9. ログオフ

ハンディ画面イメージ



データ転送

